



(北斗市はくさい)

令和6年4月24日発行

# グリーンタイム

渡島農業改良普及センター

TEL 0138-77-8242(代表) FAX 0138-77-8187



## はくさい アンコ警報！

～かん水して、生理障害に立ち向かう～

今年は雪・雨が少なく、土壌が“とても”乾燥しています！

例年のかん水量では今年は足りません！

こまめなかん水を実施してください。

また、乾燥した風が強く吹いています。朝、側窓を大きく開けて換気を行うと葉先の水分がなくなり、アンコ症状の原因となりますので少しずつ側窓を開けてください。



写真1 はくさいのアンコ症状

### 1. そもそも、アンコ症状ってなに??

カルシウム欠乏による芯腐れ症状です！

主に、土壌の低カルシウム含量で発生します。ただし、カルシウムが十分にあるほ場でも高温、乾燥、塩類集積、塩基含量の不均衡、根傷みなど吸収が阻害される条件下で発生します。

### 2. アンコ症状が発生しやすくなる土壌水分は??

生育初期～中期において、葉がしおれる程度の乾燥に1度でもあうとアンコが発生します。

特に、結球開始前後の土壌含水率が低下し、乾燥することでアンコの発生を助長します。

土を軽く握って固まる程度の土壌水分を維持しましょう。

### 3. アンコ症状を防ぐ土壌水分を確保する方法は??

(1) はくさいを定植する前にマルチを張る

→マルチを敷くことで、蒸発を防ぎ、土壌含水率の低下を防ぎます。

(2) かん水をこまめに実施する

→多量かん水を行っても、ハウスの外に水が逃げるため、乾燥してアンコ症状が発生する原因となります。土壌水分の変動が大きいと、根にストレスを与えます。土壌水分を一定に保つことで、ストレスを軽減し、アンコ症状を防ぎましょう！